

循環型社会の実現

めあて

私たちの行動が環境に与える影響を理解しよう

循環型社会の実現

目次

◎ 省エネルギーのためにすべきこと

◎ ごみを減らすためにすべきこと

循環型社会の実現

Ⅰ 省エネルギーのためにすべきこと

私たちが毎日使っている
エネルギーについて考えよう



循環型社会の実現

(1) エネルギーの種類

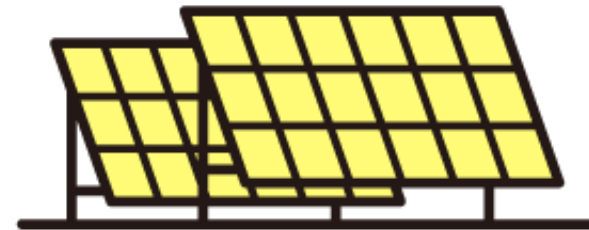
①化石燃料

数百万年以上前に存在していた動物や植物が、長い年月をかけて変化してできた燃料。



②再生可能エネルギー

一度利用しても短い期間で再生できるエネルギー



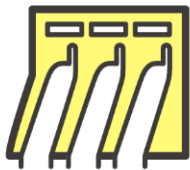
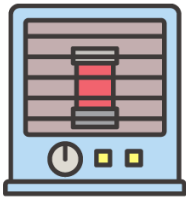

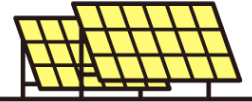



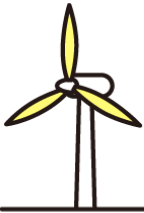
循環型社会の実現

I (1) エネルギーの種類

次のエネルギー源を、①化石燃料と②再生可能エネルギーに分類しよう

①化石燃料

②再生可能エネルギー

a. 水力	b. 石油	c. 石炭	d. 太陽光	e. 地熱	f. 天然ガス	g. バイオ燃料	h. 風力
							
②	①	①	②	②	①	②	②

循環型社会の実現

Ⅰ (1) エネルギーの種類

①化石燃料のメリット・デメリット

メリット

- ・ 輸送や貯蔵が簡単
- ・ これまでに作られた発電施設が活用できる、など

デメリット

- ・ 温室効果ガスを発生させ、気候危機の原因である
- ・ 輸入に頼っており、購入や輸送に莫大な費用が必要
- ・ 埋蔵量に限りがあり、いつかは枯渇する（なくなる）など

循環型社会の実現

Ⅰ (1) エネルギーの種類

②再生可能エネルギーのメリット・デメリット

メリット

- ・温室効果ガスが発生しない
- ・太陽光などを使うため、持続可能である
- ・エネルギー源を輸入しなくてよい
- ・身近な地域でエネルギーが作れる、など

デメリット

- ・安定した電力供給が難しい（天候の影響が大きいいため）
- ・作ったエネルギーを電力に変換できる割合が低い、など

循環型社会の実現

(2) 化石燃料の大量使用が地球環境に及ぼすおもな影響

①地球温暖化

- 北極・南極などの氷が溶けて海面上昇
→ 国土が水没してしまう恐れがある国も！
- 異常気象（豪雨による洪水、スーパー台風、猛暑による森林火災、干ばつなど）



②酸性雨

- 森林の枯死や湖沼の酸性化 → 生態系の破壊

循環型社会の実現

(3) 持続可能な社会に向けた取組み

C02の削減

- C02（二酸化炭素）など温室効果ガスの排出量を削減する取組み

世界中で、C02の実質的な排出量をゼロにしようと取組みが進む

C02吸収量の増加

- 植林や森林管理などによる吸収量を増加させる取組み

循環型社会の実現

(4) 省エネルギーのために私たちがすべきこと

取り組み例

- ・エアコンの設定温度を調節する（夏は28℃、冬は20℃など）
- ・使っていない部屋の照明を消す
- ・テレビを見ないときは主電源を切る
- ・電気ポットは必要なときだけ使う
- ・冷蔵庫の開け閉めの回数を減らす など
- ・他にしていること、できそうなことがあれば
どんどん記入してください

できることを増やしていこう!



循環型社会の実現

目次

◎ 省エネルギーのためにすべきこと

◎ ごみを減らすためにすべきこと

循環型社会の実現

2 ごみを減らすためにすべきこと

ごみを減らすために
どんなことができるかな？



循環型社会の実現

2 ごみを減らすためにすべきこと

(1) なぜごみを減らす必要があるのだろうか？



「徳島の海を守れ」
より

①環境への影響

- 限りある資源の無駄づかい
- ごみを燃やすと温室効果ガスが増える→地球温暖化
- 海洋汚染（プラごみ）・山林への不法投棄など

出典：徳島県WEBサイト 「徳島の海を守れ大作戦～美しい自然は私たちの宝物～」
(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/recycling/7214652/>)



徳島県内の海岸に漂着したゴミ（写真提供）徳島県環境指導課

たくさん漂着
しているね



循環型社会の実現

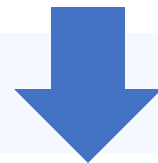
2 ごみを減らすためにすべきこと

(1) なぜごみを減らす必要があるのだろうか？

②財政面

多くの費用がかかるんだね

- **ごみ処理に必要なお金**
ごみの運搬費や処理費、処分場の維持管理費、環境対策など



ごみが減ると

- ごみ処理に必要なお金が減り、その分を福祉や教育に使うこともできる！



循環型社会の実現

2 ごみを減らすためにすべきこと

(2) ごみを減らす取組例

「続けるための工夫」を
色々と考えてみよう！

徳島県上勝町の「ゼロ・ウェイスト運動」

- **ごみを45種類に分別**
リサイクル率80パーセント以上を達成
- **ごみを出さない取組**
 - 町の人→ごみを出さない工夫
(ものを大切にする、マイ食器を持参するなど)
 - 事業所→個売りや量り売り・食品ロス削減など
 - 町役場→ゼロウェイスト推進員による
普及活動やポイントキャンペーン



循環型社会の実現

2 ごみを減らすためにすべきこと

(3) 家庭や学校で、皆さんはどのような「ごみ」を出していますか？

それらはどのような材料でつくられ、どこから運ばれてきていますか？

記入例

小さくなった消しゴム（プラスチック）、
調理後の野菜くず（タマネギ、キャベツ）、など
注：材料は思いつくものだけでいいですよ



循環型社会の実現

2 ごみを減らすためにすべきこと

(4) 「ごみ」を減らすためにすべきことを考え、実行しよう！
(ワークシートに記入し、宣言しよう)

リデュース (発生抑制)	必要な分だけ買う、詰め替え製品を選ぶ、エコバッグを持参する、長く使えるものを選んで買う、など <u>リフューズ(断る)</u> : 過剰包装やレジ袋を断る、容器をもらわない、など
リユース (再使用)	使えるものは捨てずに繰り返し使う、使い捨て商品を買わない、リサイクルショップやフリーマーケットを活用する、など <u>リペア(修理して使う)</u> : 洋服などのリメイクを楽しむ、壊れてもすぐに捨てずに修理できるか調べる、修理サービスを行っている店の商品を選ぶ、など
リサイクル (再生利用)	資源ごみの分別収集に協力する、リサイクル製品を利用する、など <u>リスポンジビリティー(責任)</u> : 再生利用できるよう、責任を持って分別・処分する